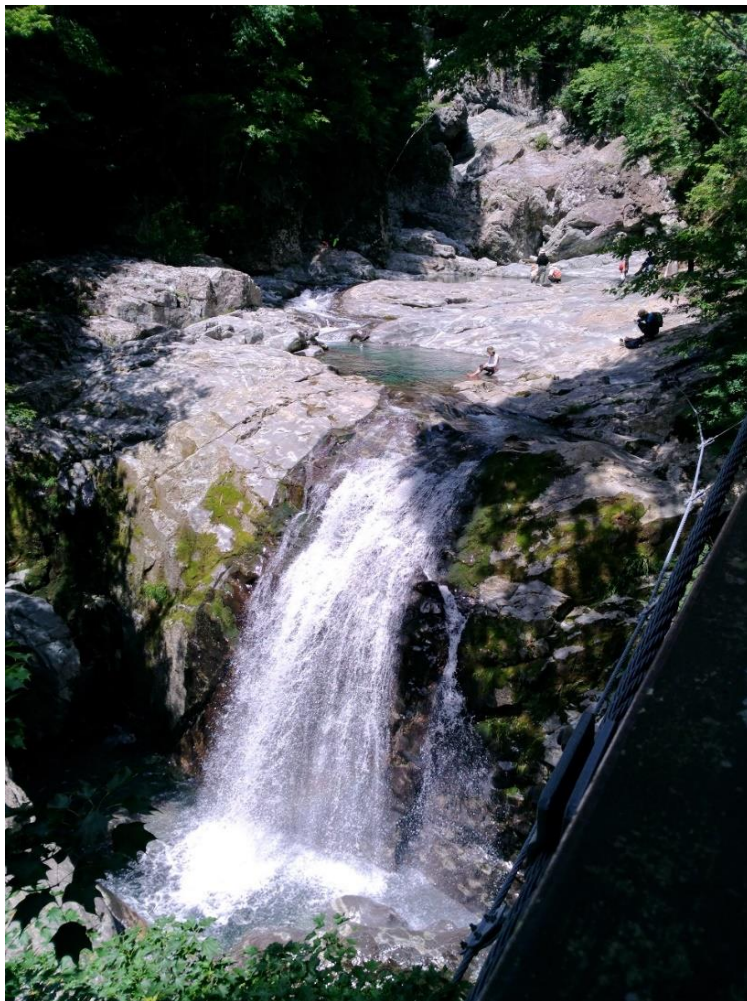


# やすらぎ通信

第92号（平成30年7月1日） 発行：大阪急性期・総合医療センター

この度の震災により被災された皆様ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と一日も早い復興をご心よりお祈り申し上げます。

## 文月(ふみづき)



(「みたらい溪谷」撮影地:奈良県吉野郡天川村)

### <目次>

以心伝心～リレーエッセー～	・・・P. 1
今月・来月の催し	・・・P. 2
管理栄養士のコーナー	・・・P. 4
今月のほっとさん	・・・P. 5
NEWS	・・・P. 6

掲示板	・・・P. 6
地域の医療機関の皆様へ	・・・P. 8
今月の風景	・・・P. 9
編集後記	・・・P. 10

## 以心伝心～リレーエッセー～

やすらぎは、旅に出てゆったりと時間を過ごすことなどで、自ら求めて得ることもありますが、知らず知らずのうちに、与えられていることが多いことに、最近あらためて気付かされました。

世の中は空前のペットブームと言われて久しく、ここ数年は、テレビCMなど巷に猫の姿がよく見られます。この猫ブームの背景には、高齢者や一人暮らし、共働き世帯などが増えたため、散歩などが必要な犬より猫に人気に移り始めたためとも言われています。

約50年前に、私の実家でも猫を飼っていた時期がありました。幼少期に飼った小猫は「ジロー」と名付け、大切なおもちゃのように扱い可愛がっていましたが、突然、家からいなくなり、姉弟で泣いたことを記憶しています。それから数年後の小学生時代のある日、ベランダで大ケガをして潜んでいた大柄な猫を介抱したことをきっかけに、再び猫を飼うことになりました。治療に精一杯で名前を考える余裕も無く、2匹目にも「ジロー」と名付けました。ケガが治ってからはケンカ友達となりましたが、ある日突然、家を出て行ってしまい、猫は家に居付かないと親に言われ、寂しい思いと諦めの気持ちを抱きました。その後、中学生時代のある夜、こげ茶色の痩せた猫が家に舞い込んできました。

不思議なこともあるものだと言いながら、この3匹目は特に私に懐いたので、あえてこれまでと同じ「ジロー」と名付けました。この3代目は家を出て行くことはありませんでしたが、ある日、普段より頻繁に私にすり寄り、払い除けても体に乗ってくることもあり、その翌日に亡くなってしまいました。自分の寿命をわかっていて、最期の日にも何度も体を寄せてきたのだと思うと、もっと大事にしてやればよかったと悔い、それ以来、猫を飼わなく（飼えなく）なりました。

3代の猫は同じ名前を付けられ、迷惑であったかもしれませんが、私のおもちゃやケンカ友達、話し相手となり、私の成長に合わせ、気分転換ややすらぎを与えてくれた貴重な存在でした。また当時の親や姉にとっても、同様の存在であったと今、振り返って考えております。

約50年が経ち、先日、初めて友人達にこの話をすると、口を揃えて「3匹は同じ猫ではないか。猫は毛が生え変わるので、外見は違っても同じ猫だろう。」と言われました。

真偽は定かではありませんが、皆、同種の猫であり、名前を覚えるのが早かったことは確かです。もし同じ猫であったなら、1匹の猫が家出を繰り返し、時に家族を心配させながら、家族に癒しや、やすらぎを与えに帰ってきてくれたのだとも思えます。

犬が好きな方や猫が嫌いな方、ペットアレルギーの方もおられますので、飼い猫をお勧めしているわけではありません。

今回は、やすらぎ通信というタイトルを見て、幼少期を振り返り、私達の身の周りには、家族やペットに限らず、また風景や会話など形のあるもの・無いものを問わず、様々な場面や時間に、知らず知らずのうちに、“やすらぎ”を与えてくれるものがあることに、あらためて気付かされ、それらを大切にしたいという想いと感謝の気持ちを抱き、筆を執らせていただきました。

(事務局 西井 宏之)

今月・来月の催し



**【第 28 回病院ギャラリー企画展 『関西の作家による版画コレクション展』】**

開催期間 6月18日（月）～9月14日（金）

展示場所 本館2階 病院ギャラリー

展示作品 24作品

本企画展は、大阪府立江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施しています。

**【すこやかセミナー「知ってますか？乳がんのこと～今押さえておきたい乳がんの知識～」】**

日時 7月12日（木） 午後2時～3時

場所 本館3階 講堂

講師 乳腺外科診療主任 田渕 由希子

参加費 無料

**【相愛大学連携 第83回 外来糖尿病教室知って得する！糖尿病との付き合い方】**

日時 7月17日（火） 午後2時～3時

場所 本館1階 アトリウム

内容 糖尿病合併症 しめじについて

糖尿病内分泌内科診療主任 清水 彩洋子

飲み薬のキホン

薬剤師 森井 絵莉香

夏バテ・夏太り対策

管理栄養士 隈元 理香

参加費 無料

**【第55回 万代・夢寄席「豊来家玉之助 夏の太神楽」】**

日時 7月18日（水） 午後2時～3時

場所 本館3階 講堂

出演 豊来家 玉之助 氏

入場料 無料

**【すこやかセミナー「免疫力UP！笑顔で長生き！～健康に毎日を過ごすポイント～」】**

日時 7月27日（金） 午前11時～12時

場所 本館3階 講堂

講師 看護師 吉田 有希

参加費 無料



### 【第 56 回 万代・夢寄席「桂春団治一門会」】

日 時 7 月 31 日 (火) 午後 2 時～3 時  
場 所 本館 3 階 講堂  
出 演 桂 福楽 氏、桂 福丸 氏  
入 場 料 無 料



### 【第 62 回 相愛大学連携コンサート】

日 時 8 月 21 日 (火) 午後 2 時～3 時  
場 所 本館 3 階 講堂  
出 演 未 定  
入 場 料 無 料

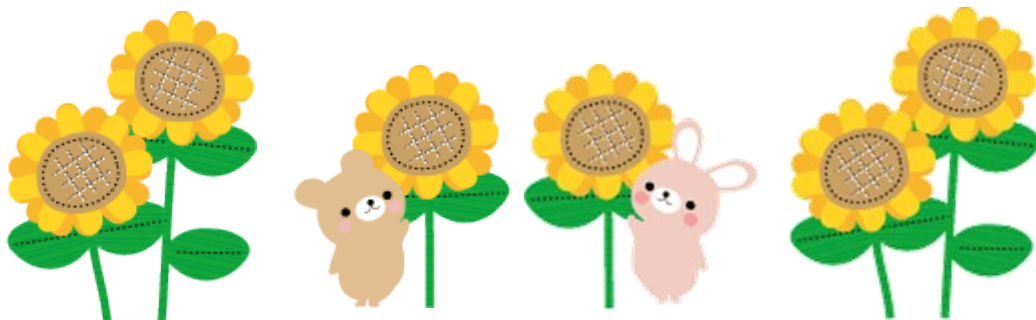
### 【すこやかセミナー「地域で守る高齢者糖尿病～糖尿病治療のパラダイムシフト～」】

日 時 8 月 24 日 (金) 午前 11 時～12 時  
場 所 本館 3 階 講堂  
講 師 糖尿病内分泌内科主任部長 馬屋原 豊  
参 加 費 無 料

### 【作品展（コスモス会）の開催と作品の募集について】

今年も当センターとコスモス会の共催による作品展を 10 月 29 日から 31 日の間、本館 3 階講堂で開催する予定です。つきましては、出展作品を下記のとおり募集いたしますので、皆さん奮ってご応募ください。

応募資格 患者さんとその家族、及び病院関係者  
応募方法 出展ご希望の方は、当センター総務・人事グループへお問い合わせください。(連絡先：06-6692-1201 内線 2313)  
応募作品例 絵画、写真、書道、手芸ほか  
作品受付日 10 月 29 日 (月) 午前 9 時～10 時  
作品返却日 10 月 31 日 (水) 午後 4 時～5 時



## 管理栄養士のコーナー

### ～ちょっとおいしい話～

暑い夏がやってきましたね。今回はレモンとハーブのソースでさっぱりといただける白身魚の料理を紹介します。

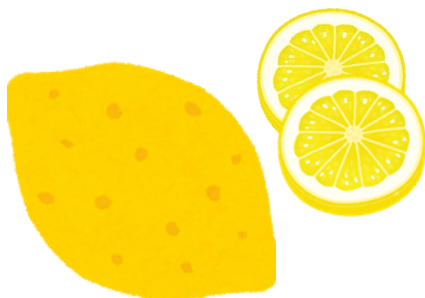


《材料》	(2人分)
白身魚(スズキ・イサキ・鯛など)	2 切れ
塩	小さじ1/6 杯
パプリカ(赤・黄1/4ずつでも)	1/2 個
オリーブオイル	大さじ1 杯
にんにく	1 片
バター	15 g
白ワイン	50 ml
レモン汁	大さじ1・1/2 杯
ハーブミックス(無くても可)	適量

(スズキの場合1人分) エネルギー：253kcal たんぱく質：18.2g 脂質：15.9g  
食塩相当量：0.8g

- ① 魚の両面に塩をふって5分程度置き、余分な水分をキッチンペーパーで拭き取る。パプリカは1cm角に切る。にんにくは薄切りにする。
- ② 熱したフライパンにオリーブオイルとにんにくを入れ、香りを出す。香りが出たら、にんにくは取り出す。魚を入れ、弱めの中火でオイルを魚にかけながら焼く。(魚が反りそうであれば、フライ返しで軽く抑えながら焼くと良い。)
- ③ 片面が焼けたら弱火にして、反対の面も焼く。魚に火が通れば皿に取り出す。
- ④ フライパンに残った油は捨てずに、そのままフライパンにバターを入れ、中火でパプリカをさっと炒める。白ワインを入れてアルコールをとばし、レモン汁、ハーブミックスを入れて混ぜる。
- ⑤ 魚に④のソースをかければ出来上がり。

管理栄養士 谷 菜穂子





## 今月のほっとさん

平成 30 年 4 月より、医療技術部がこのコーナーを受け持つことになりました。医療技術部は多くの職種から成り立ち、病院の医療を縁の下で支える役割を担っています。そんな私たちの熱くて優しいなごみの気持ちをお伝えするため、コーナー名を「今月のほっとさん」と名づけました。日頃は地味な私たちですが、色々な“ほっと”を患者さんやご家族、そして医療現場の仲間たちにお届けしたいと思います。



### 検査部門 技師長 小倉さん



大阪はびきの医療センターから転勤して参りました臨床検査部門の小倉と申します。先月号のほっとさん放射線部門の檜山技師長は放射線部門の紹介をされていましたが、今月は部門の紹介ではなく私の住んでいる街を紹介します。



私の住んでいる街は大阪府の南部岸和田市です。毎日、南海電車で揺られながら通勤しています。岸和田市にはお城があり、春は花見の名所となっています。庭園は八陣の庭として国の名勝に指定されています。八陣の庭は諸葛孔明の八陣法をテーマにしたとされ、中央の大将と先端の天・地・風・雲・鳥・蛇・竜・虎の各陣に石組みが配されているそうです。岸和田と言えばだんじり祭りが有名です。9

月の敬老の日（ハッピーマンデー）の3連休の土曜日と日曜日に開催されます。私たちが学生の頃は9月15日が敬老の日でしたので、お祭りは9月14、15日と決まっていました。お祭りは前日の金曜日の午後から試験曳きで、市内の小中学校は金曜日の午後からお休みです。土曜日は午前6時から曳き出し、午後からはパレード、日曜日は宮入りです。9月のお祭りは岸和田地区と春木地区に分かれていて私の住んでいる北町は岸和田地区です。岸和田地区のだんじりは春木南を入れて22町、土曜日のパレードの順番は毎年抽選で決まります。だんじりは各町ごとに維持され、だんじり小屋に保管されています。岸和田のカレンダーは9月はじまり、岸和田の商店街のアーケードはだんじりのために高く、歩道もだんじりのためにバリアフリーになっています。少子化社会なのにだんじりのあるおかげ？子ども会も活発に活動、昔ながらに子どもたちが地域に見守られている感じが強く、そんな街が私はとても好きです。商店街には何年か前にNHKの朝の連続テレビ小説カーネーションの主人公のモデルになった小篠綾子さん（コシノ3姉妹のお母さん）の家も改装されて残っています。当時は観光客も多く、街中をツアーガイドの方が旗を持って歩いている姿もよく見かけました。最近インバウンドで関西国際空港が近いこともあり、街中に外国の方を多く見かけるようになりました。山手に行けばホテルが飛び交う自然もいっぱいです。そんな岸和田に、皆さんも一度遊びに来ませんか。

## NEWS

### 【身体障がい者補助犬の受け入れにご理解・ご協力をお願いします！！】

当センターでは、身体障害者補助犬法を踏まえ、身体障がい者補助犬（補助犬）のユーザーやユーザー以外の患者さんが安心して診察等を受けていただけるよう、平成30年4月1日から、下記の入室制限区域以外の区域について補助犬の入室が可能な区域として決めました。来院者の皆さんにおかれては、ご理解のほど、お願いします。



#### 【入室制限区域】

手術室、救急診療科、ICU・CCU・SCU、画像診断科、放射線治療科、薬局、病棟（談話室、食堂及びトイレを除く）

## 掲示板

### 【ボランティア活動のお知らせ】

当センターでは、「採血室受付」や「入院時の病棟への案内」を中心に、毎日ボランティアが活動しています。また、看護学生や保育学生による話し相手や遊び相手のボランティアや、リハビリ病棟の長期入院患者さんを対象に、ハンドマッサージ（大阪府鍼灸マッサージ師会の協力）や理髪ボランティア（近隣理髪店の協力）、ピアサポート（年3回）を実施しています。1月30日には、認定NPO法人日本クリニクラウン協会から、小児科病棟にクリニクラウンの訪問を受けました。

これらの活動状況は、当センターホームページで紹介していますので、是非ご覧ください。また、ボランティアを随時募集していますので、お問い合わせください。

(URL) <http://www.gh.opho.jp/recruit/10.html>

### 【「医療相談」コールセンターのご利用を ～地域医療連携センター～】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談に、看護師が電話で応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号	06-6692-2800	(専用電話回線)
	06-6692-2801	(専用電話回線)
相談日時	月曜日～金曜日	午前9時～午後5時
	(年末年始、土・日・祝日除く)	
相談対象	医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等	
相談員	看護師	

## 【診察予約変更センター 9 診療科において

### 診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！

当センターでは、下記の 9 診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非積極的にご活用ください。なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意くださいますようお願いいたします。

電話番号 06-6692-1201 (代表) にダイヤルして  
「予約変更センター」と言ってください。

受付時間 午後 3 時～午後 5 時(平日のみ)

対象診療科 呼吸器内科 消化器内科 糖尿病内分泌内科  
皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科 神経内科  
脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

## 【入院治療費や外来での検査費用の概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターでは、入退院センターにおきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用、医療・福祉相談コーナーなどで CT、MRI、RI、エコー検査など検査の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

## 【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。

なお、一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

## 【Facebook ページ開設のお知らせ】

当センターでは、公式 Facebook ページを開設しております。Facebook のアカウントをお持ちでない方でも、ご覧いただけます。

(URL) <https://www.facebook.com/osakageneralmedicalcenter>

※スマートフォンでご覧になる場合は、右の QR コードをご利用ください。



## 【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」はメルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪急性期・総合医療センター」にて可能です。





【精神科の診療内容のご紹介】

精神科閉鎖病棟をもつ総合病院は、大学病院を除くと大阪府下で3病院しかなく、当センターの精神科では、総合病院の特長を最大限に生かして、身体合併症対応に特化した病棟運営をしています。

図1は精神科新入院患者数と合併症患者数です。合併症患者の比率が平成14年頃から徐々に増え、平成21年度以降は8~9割となっています。身体疾患の治療は、救急診療科をはじめすべての診療科に協力いただいています。

そして、身体の治療が終われば、できるだけすみやかに退院または紹介元に転院していただき、新たな患者さんを受け入れています。

図1

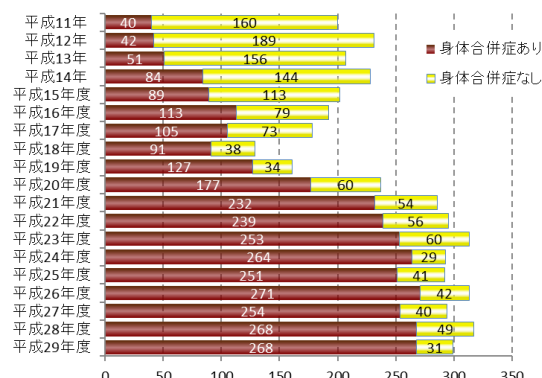
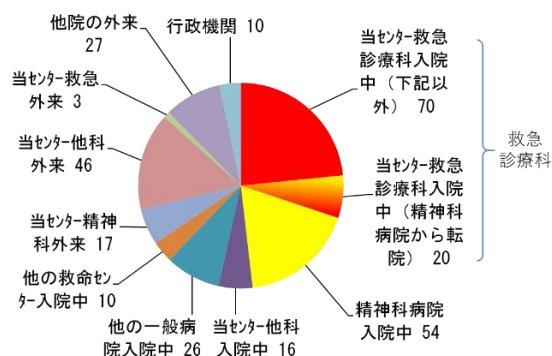


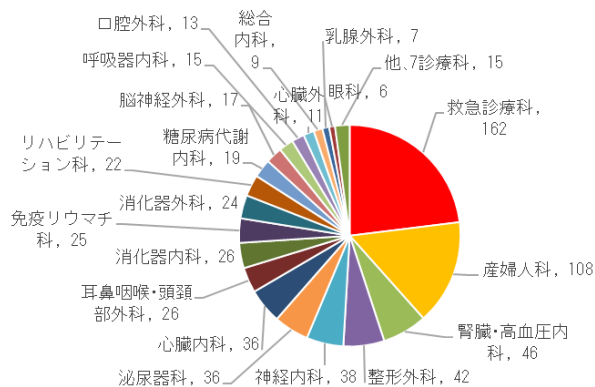
図2は昨年度の精神科入院患者の直前の依頼元です。当センターの救命救急センターと、単科の精神科病院からの転院で約半数を占めています。ほかに、当センター以外の総合病院や救命救急センターからも受け入れています。精神科病棟では、精神疾患と身体疾患を同時に治療する密度の高い医療を提供しており、病棟看護師は精神・身体両面の看護を行っています。

図2



一方、精神科病棟以外でも、他科で治療中に必要が生じた患者さんの精神科診療を行っています。図3は昨年度の精神科新患844人のうち、院内他科から紹介された703人の診療科別内訳です(他科入院中の477人、他科外来からの226人を含みます)。救急診療科が最も多く、産婦人科からは、精神疾患をもった妊婦さんが数多く紹介されます。一般病棟入院中の患者さんでは、せん妄が4割近くを占めています。また、緩和ケアチーム、認知症ケアチームにも精神科医が参加しています。

図3



これらの総合病院ならではの業務に専念するため、一般的な精神科外来は行っておらず、地域医療機関の先生方にはご不便をおかけして申し訳ありません。ご理解のほど、宜しくお願い申し上げます。

精神科 主任部長 松永 秀典

## 【病診連携研修会のお知らせ】

日 時 7月19日(木) 午後6時20分～8時30分

場 所 天王寺都ホテル 6階「吉野の間」

プログラム

### ○一般演題

講演1 「当センター精神科病棟における身体合併症医療」

精神科 主任部長 松永 秀典

講演2 「精神科病棟外で行っている精神科と他科・他職種との連携」

精神科 診療主任 和田 民樹

### ○特別講演

「認知症診療の基本」

大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室 教授 池田 学 先生

## 今月の風景



### 【コメント】

西方ヶ岳から見た若狭湾の写真です。西方ヶ岳は、敦賀半島のほぼ中ほどにあります。近くで見る海も良いですが、山から眺め下ろす海も、広がりや場所で変わる青の色合いが楽しめました。

<匿名希望「西方ヶ岳から見た若狭湾」撮影地：福井県敦賀市>

## 編集後記

今月の表紙は、投稿をいただきました「みたらい溪谷」の写真です。近鉄の下市口駅からバスで約 1 時間。エメラルドグリーンに輝く清流と大小様々な滝や巨岩を縫う溪谷の遊歩道を歩きながら、四季折々の景観を楽しめるそうです。滝の上で水に足を浸している方がいらっしゃって、とても涼しげですね。

<お願い>

読者の皆様からも、今後の表紙と「今月の風景」を飾る写真の投稿をお待ちしております。ご投稿いただける方は下記宛先までお送りください。

【宛先】 [kyuseisogo@opho.jp](mailto:kyuseisogo@opho.jp)

【注意事項】

- ・ 投稿写真はご自分で撮影したオリジナルの作品に限ります。
- ・ タイトル、撮影日時、場所についてのコメントをメール本文に記載ください。
- ・ 作品は著作権、肖像権を侵害するおそれのないものに限ります。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。